

了解日本 解读文化 学习日语

日本之声

日本の声

苏君业 李玉光 编著

〔日〕开发 实 主审

大连理工大学出版社

© 苏君业,李玉光 2004

图书在版编目(CIP)数据

日本之声 / 苏君业,李玉光编著. —大连:大连理工大学出版社,2004.6

ISBN 7-5611-2558-5

I. 日… II. ①苏… ②李… III. 日语—语言读物 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2004)第 024162 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市凌水河 邮政编码:116024

电话:0411-84708842 传真:0411-84701466 邮购:0411-84707961

E-mail:dutp@dutp.cn URL:<http://www.dutp.cn>

大连理工印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:140mm×203mm 印张:8.75 字数:206千字

印数:1~6000

2004年6月第1版

2004年6月第1次印刷

责任编辑:于福岳

责任校对:萧音

封面设计:孙宝福

插图:连婷婷

定 价:15.80元

前 言

提高日语综合能力是个日积月累的过程,无论是日本举办的日语能力测试、日本留学考试,还是中国国内的日语专业四、八级考试,一个很明显的趋势就是越来越偏重对听、说、读、写、译这五大基本功的考核,所以语言的综合运用能力和对日本本土文化的理解能力的培养就成为日语教学的重中之重。但是,现在的日语教学往往仅局限于基础、听力、会话等单科训练,使得许多日语爱好者甚至是日语专业的学生不自觉地被这样的模式所束缚,在学习一段时间以后知识陈旧、知识面狭窄、对语言对象国的日本了解甚少、综合运用能力低下的弊端明显表现出来,而且往往求知心切

又无从下手。

笔者在高校从事日语教学多年,就很少发现学生能主动地接触一些有意义的课外日语读物。主要是因为除了各种应付考试的参考书以外,这样的书籍实在是太少了。另一方面虽然 NHK 国际广播以及铺天盖地而来的网络信息都为日语学习提供了一个广阔的空间,但是由于学生知识积累匮乏,所以不达到一定的层次很难自由地在这个空间纵横驰骋,结果往往是费时费力却又收效甚微。从这个意义上讲,对于中级水平以上的日语学习者来说,的确需要通过一些媒介的引导逐步开阔视野,通过拓宽日语知识面和自己的主动学习,来实现综合能力由量到质的飞跃。为此本书意在充当这样一个媒介,为读者提高日语综合能力助一臂之力。

本书在撰写过程中着力注重以下几方面的特色:

1. 内容新颖,每篇文章经典隽永。本书是以最新的日文网络或报纸上的文章为蓝本,结合中级以上日语读者层的特点和需要在编辑汇总的基础上进行再创作,书中所涉及的内容都是当前日本一些敏感的话题,所选的文章语言优美、精练。

2. 知识面广,知识层次和文化含量高。书中介绍了关于日本事情的 35 个话题,涉及到日本的社会、文化、经济、历史、风俗、伦理道德等不同领域,在全面展示当今的日本社会一些焦点问题的同时,更多注重的是通过阅读和理解真正能给读者带来一丝感动和一份思考。

3. 精心设计,解析翔实。为了帮助读者提高学习效率,本书在编写过程中充分考虑读者自学的实际需要,在全书的设计上做了精心的安排,由知识性介绍到常用单词汇总、到同步的自测练习以及供读者体会翻译原则和技巧的译文,每一环节力求从不同的侧面强化读者对原文的理解和应用。

4. 趣味性强。本书有意选择一些知识性和趣味性有效结合在一起的佳作,再加上结合原文精心设计的插图,从内容上和视觉上都可起到激发读者学习兴趣的效果。

本书的许多内容已应用于教学实践中,由于学生普遍反映较好,才有意成书以便能有更多的日语爱好者共同分享。

本书在编写过程中得到了日本友人开发实先生和大连理工大学出版社的鼎力合作,全书插图由大连大学美术学院学生连婷婷精心创作,在此一并表示诚挚的谢意。

愿读者在阅读本书时,能自觉自律、学思结合,通过点点滴滴的知识积累实现日语综合实力的质的飞跃。

编者

2004年4月

目次

1. 男と女の光景	1
2. 争いにも理性を	9
3. 日本留学生	16
4. 「仏の道」——日本からの支援	22
5. 人生物語	30
6. 米泥棒	39
7. 生きる喜び	48

8. 焼酎	55
9. スイカ	63
10. 「ご利用は計画的に！」	69
11. 職人精神	77
12. 切手の主役	85
13. 日本地図	90
14. 徐福伝説	97
15. 悲観せず	104
16. 錦秋	111
17. 菜園家族	119
18. さよなら町の映画館	126
19. 歯が減ると脳も萎縮	134
20. ラーメン店開業	141
21. 冬至	150
22. 恩返し	159
23. フルーツティー	166
24. 長崎オランダ村の風車	174
25. TV塔からドルを撒く	182

26. ミノムシ	189
27. 金太郎飴	197
28. 偏見と差別	204
29. 言葉遣い	213
30. 漁夫の利	221
31. 黄河の緑化	229
32. 日本のハンバーグ	237
33. 豪華海外旅行パッケージ	244
34. イトーヨーカ堂の北京進出	254
35. 木の文化	262

1 男と女の光景

近所にガラス張りの美容室がある。女性客が数人、髪のカットやセットをしてもらっている。その中に一人、頭にタオルを巻いた男性が交じっている。今は男性も美容室¹⁾に行くそうだが、見ていて何か違和感がある。

美容室の椅子はやはり女性が似合う。エステサロン²⁾も同じだ。男が顔のマッサージを受けている姿をテレビで見たが、実に似合わない光景だった。ただし、同じマッサージでも、足裏のマッサージとなると、男女ともよく似合う。

話は変わって先日、オバサンが電車で走りこんで来て隣に座った。荷物を横の空いている席にドンと置いて、「ほら、ここ、ここ」と遅れて入って来たオバサンに手招きをした。

「あんた、いつだって遅いんだから」「あー、助かったよ。あんたのおかげで、よかった、座れて」とか何とか言って笑い合っている。

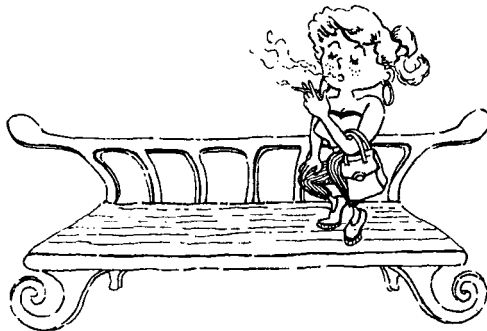
こういう光景は女性にしか似合わない、というより、男はこういう形で友達甲斐のあるところを見せたりはしないように思

つ。とにかくカッコつけずに明るく楽しく、わが道を行く振る舞いは女性のものである。

華やかな場所も女性のほうが似合う。歌手やタレントのディナーショーには男性もけっこう出かけているようだが、松田聖子³⁾のディナーショーなどは女性しか似合わないだろう。コンサートなら別として、彼女のディナーショーとなると、…やはり男には似合わない。

以前、大阪城ホール⁴⁾でモーニング娘⁵⁾のコンサートがあった時、知人が小学校の娘と見に行った。客席は総立ちで、振り付けをきっちり覚えて踊っている子もけっこういる。中には30代、40代の男性もいたらしい。こういうオジサンの姿を想像すると奇妙だが、モーニング娘自体に、「皆さん、一緒に！」と弾んだ雰囲気があるので、案外違和感はないようだ。

しかし、コンサートでこれは絶対女性、しかもオバサンしか似合わないと思われるのは、氷川きよし⁶⁾のコンサートだ。



1. 男と女の光景

氷川の顔写真入りの団扇^{うちわ}を左右に振って、ズン、ズン、ズンドコー「きよし!」、なんて、男にできるのか。

ところで最近、駅のホームのベンチでごろ寝^ねしている女子高生を見た。ちょっと前は、公園のベンチで立膝^{たてひざ}でたばこを吹かしている子も見た。

似合うとか似合わないとか、そんなもの吹き飛ばしてしまう有り様^{ありさま}である。



豆知識

1. 美容室

主に女性の髪のカットやセットをする専門店で、最近では男性も出入りしている。それに対して理髪店は主に男性の髪を整えたり、ひげ剃り^そなどをして頭や顔を整えるところである。

2. エステサロン

全身美容館。「エステ」は「エステティック」の省略。

3. 松田聖子

1980年代から続くアイドル歌手。一人娘「さやか」も歌手。紅白出場多数。

4. 大阪城ホール

大阪府中央区に所在する。1583年豊臣秀吉^{とよとみひでよし}が築いた大阪城の公園内に15000人収容できる多目的催し^{もよお}会場。

5. モーニング娘

1999年結成されたヤングギャル複数グループで、今日本で最も人気がある女子歌手グループ。紅白出場あり。

6. 氷川きよし

1998年デビューのヤング男性演歌歌手。特に中年女性に人気がある。紅白出場あり。



近所(きんじょ)	[名]	附近, 近处
ガラス張り(〜ばり)	[名]	镶着玻璃的门或窗
美容室(びようしつ)	[名]	美容院, 美发院
カット(cut)	[名・他サ]	理发
セット(set)	[名・自他サ]	(烫发后)做发型
交じる(ま〜)	[自五]	混入, 混杂
違和感(いわかん)	[名]	别扭, 不舒服
エステ(aesthetic)	[名]	全身美容
(=エステティーク)		
サロン(salon)	[名]	沙龙
マッサージ(massage)	[名]	按摩
足裏(あしうら)	[名]	足底, 脚底
手招き(てまね〜)	[名・他サ]	招手
振る舞い(ふ〜ま〜)	[名]	举止, 动作
華やか(はな〜)	[形動]	华丽, 盛大
タレント(talent)	[名]	演艺界人士
ディナーショー(dinner-show)	[名]	晚餐会, 晚宴
大阪城(おおさかじょう)	[名]	大阪城

1. 男と女の光景

総立ち(そうだ~)	[名]	(在场的人)全站立起来
振り付け(ふ~つ~)	[名]	(跳舞或唱歌时的)动作
弾む(はず~)	[自五]	高兴,起劲
顔写真入り (かおじゃしんい~)	[名]	带面部照片的(月票、护照等)
团扇(うちわ)	[名]	团扇
ホーム(platform) (=プラットホーム)	[名]	月台,站台
ごろ寝(~ね)	[名]	躺下就睡,和衣而睡
女子高生(じょしこうせい)	[名]	女高中生
立膝(たてひざ)	[名]	坐时把双腿立起来
たばこを吹かす(~ふ~)	[連語]	抽烟
吹き飛ばす(ふ~と~)	[他五]	刮跑,吹走,赶走
有り様(あ~さま)	[名]	样子,光景,情形



聴解

テープを聞いて、正しい答えを一つ選びなさい。

1. 女の人に似合わないものは何だと思われますか。

- ①美容室
- ②コンサート
- ③駅のホームのベンチでごろ寝
- ④歌手やタレントのディナーショー

2. 男の人に似合うものは何だと思われますか。

- ①美容室
- ②相手のために席をとる
- ③足裏のマッサージ

日本之声

- ④公園のベンチで立膝でたばこを吹かす
3. 男の人も女の人も似合うものは何だと思われますか。
- ①美容室
- ②足裏のマッサージ
- ③氷川きよしのコンサート
- ④松田聖子のディナーショー

会話

1. 最近、町のあっちこっちで足裏のマッサージの店が出来ていましたが、それについてご感想はいかがですか。
2. 似合うとか似合わないとかいうような男女の光景について、ご意見はいかがですか。特に、違和感のある光景は何でしょうか。
3. あなたの好きな日本の歌手やタレントは誰ですか。

翻訳

- 次の日本語の文を中国語に、中国語の文を日本語に訳しなさい。
1. とにかくカッコつけずに明るく楽しく、わが道を行く振る舞いは女性のものである。
2. 最近常可以看到在车站站台的长椅上躺下就睡的女高中生,就在前些日子还看见抬脚坐在公园长椅上叼着香烟的女孩儿。

解答

聴解

1. ③ 2. ③ 3. ②

会話

1. 健康に関心を持つ人が多くなったことは良いことだと思いますが、代金が少し高いので、まだまだ庶民には遠い存在だと思います。

1. 男と女の光景

2. 最近は似合うとか似合わないと言う前に、人間として非常識な行為をする人が目立ちます。特に公共施設(国民みんなの施設)を、汚したり、傷つけたりして、皆の財産を大切にしない光景を見ると、寂しさを感じます。
3. 山口百恵、三浦友和、酒井法子、宇多田ヒカル。

翻訳

1. 不管怎么说,这既不矫揉造作,又能直率而开心地我行我素的举止,只是女人们的专利。
2. 最近、駅のホームのベンチでごろ寝している女子高生を見た。ちょっと前は、公園のベンチで立膝でたばこを吹かしている子も見た。



訳文

1. 男人和女人的风景线

附近有家镶满玻璃的美发室。几位女顾客正在剪发或做发型。一位头上缠着毛巾在美发的男人也在其中,倒是听说过如今的男人也经常光顾只有女人才去的美发室,可看上去还是觉得有些不舒服。

美容室的椅子还是比较适合女人,全身美容院也不例外。电视中可以看到男人们正在做面部按摩,这种风景实在是不合时宜。但同样的按摩,提起足底按摩,倒是觉得对男人对女人都为不过。

话说前几天,一个中年妇女急三火四地上了电车,就坐在我的旁边,她把包儿往旁边空着的座位上一放,便对着另一个后来上车的中年妇女招手:“你快点儿,在这儿,在这儿呢”。(在公共场合这

种做法不可取。——编者注)

“你呀，什么时候都慢慢腾腾。”“啊，这下子可好了，多亏你了，太好了，还能坐上座。”两个人相视而笑不知又说些什么。

这种场合与其说只适合女人，倒不如说男人不会以这种形式来表明友情的分量。不管怎么说，这既不矫揉造作，又能直率而开心地我行我素的举止，只是女人们的专利。

雍容华贵的场所也更适合女人。有些男人也经常出席歌星或演艺圈的晚餐会，可是，想必歌星松田圣子的晚餐会就只适合女人吧，音乐会暂且不提，至于她的晚餐会，还是觉得男人不合适。

以前在大阪城音乐厅举办晨安美少女组合音乐会，我的朋友带着女儿去了，观众席上群情激昂，大家全都站起来了，其中也有很多熟知所有歌伴舞的动作并跟着一起扭动着的小女孩儿。当然也有三四十岁的男人。想像一下这样一些中年男子临场的情景就觉得有些不伦不类。可是，置身于晨安美少女组合“让我们一起来”这热情激昂的气氛中，没想到那原本不舒服的感觉早已荡然无存。

音乐会绝对是只适合女人，而且能想到的更适合中年妇女的是冰川清的音乐会。

她们左右扇摇着印有冰川清头像的团扇，噌，噌，噌，“清！”诸如此类，你男人能吗？

可是，最近常可以看到在车站站台的长椅上躺下就睡的女高中生，就在前些日子还看见抬脚坐在公园长椅上叼着香烟的女孩儿。

孰是孰非，一些传统的東西似乎都被吹到了九霄云外。

中国・雲南省^{うんなんしょう}の高
さ3000メートル以上の
山の森に住むピエモン
キーは、上下^{じょうげ}の序列^{じょれつ}
や争いもなく、おだや
かに暮らしています。
だが、すでにその数は
密猟^{みつりょう}などにより1500
匹^{びき}にまで減少^{げんしょう}し、絶

2. 争いにも理性を

滅^{めつ}の危機^{きき}にひんしていま
す。その生態がよく分か
らなかったピエモンキー
の暮らしぶりを10年間に
わたって追った映画「雲南
省のサル」が富山^{とやま}市民プ
ラザの世界自然・野生生
物映像祭^{じょうえい}で上映^{じやうえい}されて
います。この映像祭は10

年前から2年ごとに開催され、今回はノミネート作品32本、招待作品15本が富山県¹⁾内各会場で上映されています。

群れの生活^{いとな}を営む動物には上下の序列が見られます。その
優劣^{ゆうれつ}関係^{かんけい}は闘争^{とうそう}によって決まります。ピエモンキーは、そんな常識^{じょうしき}をくつがえす存在です。ただ序列をめぐる争いも、相手を激しく傷つけるような攻撃^{こうげき}はまれで、威嚇^{いかく}のポーズなど儀式化された争いで決着がつくのが動物の世界なのです。

オーストラリアの動物行動学者K・ローレンツ²⁾は、同じ種の間で殺し合いをするのは人間だけだという説をとなえまし